

市会スタート！ 教育福祉委員会へ所属決定



おかげさまで、地域政党京都党は4名の議員が当選し、活動を開始致しました。この度、京都党市会議員団の政調会長を拝命し、党の政策調査、意見書の作成や他会派との調整、勉強会運営などを務めております。

本年度の常任委員会は教育福祉委員会に所属し、教育、福祉などを所管する委員を務めております。

また、以前より訴えておりました行政改革、財政再建に向けても徹底して進めて参ります。この夏は調査活動を膨大に抱え、右往左往です。

市議となり、行政を内側から見ると、ときに市政改革を進めたい想いとそれを阻む環境に、時に歯がゆさも感じますが、よりよい地方政治の実現に向けしっかり取り組んでまいります。

東北被災地の視察・支援へ

議会がひと段落した6月、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県、宮城県へ視察とボランティアに行っていました。支援の熱が冷めつつある中で、継続支援の必要性を認識ながら、京都市の防災対策等を考えて参りました。



▲文化財レスキュー視察



▲津波被害を受けた小学校



▲押し流された防波堤

目的①防災対策や震災後の処置など京都市が学ぶべき点

◆防災対策の見直し

自主防災機能の強化 ・ 避難所の適切な提示 ・ 食糧や機器など備蓄物の再点検 など。

◆災害発生後の処置及び対策

陳情窓口の一本化(市役所の情報の錯綜や混乱回避) ・ 議員の役割分担(情報収集、分析、行政に適切な執行依頼及び監視、現地での復興支援活動など) ・ 物資運搬ルート of 具体的想定 など。

目的②地方政治の在り方

復興に向けての大枠規定や、財源に関しては国の協力が必要なものの、街づくりはその地方の裁量で進めることが必要。

行政の動きが早かった地域とそうでない地域とでは**復興スピードの差**が如実に表れます。**“非常時に政治が見える”**のは確かです。

財政自立への挑戦

《政策目標より一部抜粋 ・ 財政項目》

I 収入を見直し

- 徴収力強化による市税徴収率の向上★★★
- 徴収窓口の一元化・専門化★★
- 市有財産の有効利用・広告収入の向上★★★
- 法定外新税の導入の検討★

II 支出を見直し

- 事業仕分けの徹底★★★
- 不正支出の徹底監視★★★
- 人件費の抑制★★★
- 補助金改革★★
- 議会改革の徹底実施★★

※ ★印は優先度の高さ。



市会改革推進委員会が発足！ 先送りした議員定数削減が最大の焦点！



昨年、市民の皆様にご協力頂きました議員定数削減の署名活動(直接請求)は、必要署名数を大きく上回る4万近い署名になりました。臨時議会で否決されたものの、火種はくすぶり続け、結局選挙へ持ち越しとなりました。

この度、議員定数を含め更なる議会改革を推進させるべく**市会改革推進委員会**が発足致しました。

京都市に財政非常事態宣言が出され、2兆円以上もの莫大な借金を京都市が抱えている中で、一刻も早く財政再建、そして行政改革を推し進めていかなければなりません。いま、まず議員特権を廃止し、市民の皆様にご理解をいただいたうえで改革に踏み出したい。この想いで活動を続けて参りました。

今回、費用弁償の廃止が決定し、議員定数から始まった議会改革への本格的な動きが始まりました。

年度	議員特権	変更
平成16年	議員の市バス地下鉄無料パス	廃止
	議員の美術館等の無料パス	廃止
	退職議員の交通パスなど	廃止
	費用弁償 11,000→10,000円へ	減額
	海外視察旅費 120万→100万円へ	減額
平成19年度	費用弁償 10,000→5,000円へ	減額
平成22年度	費用弁償	廃止